

■女性のエンパワメントセミナー「出会いを”ちから”に学びを”行動”に」受講申込書■

フリガナ			年代	ご職業	
お名前			歳代		
連絡先 日中連絡 がとれる先	企業・団体等名 部署名	※職場等の場合はご記入ください。		役職	
	住所	〒 (自宅・会社 いずれかを○で囲んでください)			
	電話			FAX	
	メールアドレス	(携帯・スマホ・PC いずれかを○で囲んでください)			
託児 (生後6ヶ月～ 小学3年生まで) ★要予約★	希望する( )名 希望しない(○で囲んで下さい)				
	お子様のお名前	フリガナ	男・女	生年月日	平成 年 月 日
	お子様のお名前	フリガナ	男・女	生年月日	平成 年 月 日
応募理由 (具体的に)					
※応募者多数の場合は、選定の参考になさせていただきます。					

・個人情報は本講座の連絡及び男女共同参画に関する情報提供以外には使用しません。・駐車場があります。受講者は無料です。

■ 申込み方法 ■

- ①申込用紙にてメール・FAXで申し込む(24時間受付) ※申込書は当センターホームページ「トピックス」からもダウンロードできます。
  - ②お電話または直接センターで申し込む(受付時間は9時～17時/月曜休館※祝日の場合は翌日)
- ★無料で託児を実施致します。申込された方にはご連絡いたします。※要予約、人数に限りがございます。

■ 申込み・問い合わせ先 ■ 鹿児島県男女共同参画センター(かごしま県民交流センター男女共同参画推進課)

〒892-0816  
鹿児島市山下町14-50  
TEL 099-221-6603  
FAX 099-221-6640

URL <http://www.kagoshima-pac.jp>  
E-mail: [p-harmony@pref.kagoshima.lg.jp](mailto:p-harmony@pref.kagoshima.lg.jp)

託児ご希望の方は2/3(水)までにお申し込み下さい!

平成27年度鹿児島県 女性のエンパワメントセミナー

# 出会いを“ちから”に 学びを 行動 に

～2016素敵に出会う日曜日～

■2月14日 ■2月21日 ■2月28日 13:00～16:00

@かごしま県民交流センター東棟3階大研修室

主催 鹿児島県 実施団体 ティ・エヌ・ティ

私たち女性は、キャリアと自己実現において難しい選択を迫られることが多い"性"を生きています。それは、私たちが、ライフステージの様々な段階で経験するライフイベントによって、働き方の変化への対応を求められることが多いからです。

「ずっと働き続けたい!でも…」

「仕事とプライベート、仕事と生活との両立が私にできるかな?」

「子育てとの両立、今は何とかできているけど…、この先、仕事での責任も増えて、もし管理職になったりしたら、ちょっと難しいかもなあ…」

「仕事だけでなく…プライベートも大切にしたいって思うのは贅沢なのかなあ〜?」

などなど…、多くの女性が働き続けることと、それぞれの望む生活との両立に不安があり、先が見えない将来を心配しています。

鹿児島県では現在、女性が働き続けられる環境づくりが豊かな未来への鍵を握ると信じて、性別を問わず適材適所の人材活用を図るための「女性が働き続けられる職場づくり促進事業」を展開し、県内の5事業所で取り組みがはじまっています。

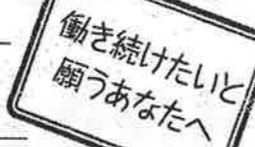
私たちをはじめましょう!

働き続けたい!と願う女性たちが、集い、学び、交流する"場"を用意しました!

私たち一人ひとりの"しあわせのかたち"をひらく学び!

ここでの出会いを"ちから"にかえて"行動"する私たちの一歩が、"私のしあわせ"に、

そして…"次の時代を生きる人たちのしあわせ"につながることを信じて…。



## DAY 1 私の働くちから・キャリアについて考える

### オリエンテーション

#### 「女性のエンパワメントについて」

開講にあたって、本セミナーの核となる男女共同参画・エンパワメントの概念について学ぶことを通して、ここからはじまる3日間の方向性を共有します。

講師 オフィスピュア代表  
たもつ ゆかりさん

### 「女性が働き続けること」について考える

人生の中で起こる、さまざまな経験が自分の糧となり、それが基盤となって「働くちから」へと発展していきます。いろんな視点から「これまでの自分」の経験を見つめることで、「これからの自分」の可能性に気づくために「女性が働き続けること」について考えてみましょう。

講師 特定非営利活動法人  
日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会  
キャリア開発室 室長 森園 仁美さん

## DAY 2 "女性のライフイベント"と"リーガル・リテラシー"

ライフステージにあわせて働き方を変えることが多い私たち女性。それぞれの段階で経験する(経験する可能性のある)就学、就職、結婚、出産、子育てetc…ライフイベントの側から社会の制度や法律を読み解くことで、これまでの私の選択に社会の在り方が大きく関わっていたことを知り、これからの豊かな自己決定をめざします。

講師 プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー®  
満田 温子さん 中島 真理子さん  
WLBコンサルタント  
川野 好子さん

## DAY 3 デザインしてみよう! これからの"私たちの学びの場"

出会いを"ちから"に 学びを"行動"に! 本セミナーでの学びをそれぞれの場所で活かしていくために、ここで出会った私たちがさらに学びを深め交流・情報交換を続けるネットワーキングに向けて、これからの私たちの、つながりのカタチをアサーティブ・コミュニケーションを練習しながら私たちがデザインします。

講師 ワークショップデザイナー  
高崎 恵さん

① 2016年2月14日(日) ② 2016年2月21日(日) ③ 2016年2月28日(日) 時間 13:00~16:00

参加費無料 対象 県内で働いている女性 原則全回受講できる方 定員 20名 申込 締切 定員になり次第

### 男女共同参画社会

すべての人々が、その人権を尊重され、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会のこと。

### エンパワメント

誰もが生まれながらに持っている本来の個性や力を十分に発揮できるよう社会の在り方を変えることを前提として、社会的制約や様々な抑圧によって発揮されていなかった自分の力への信頼と尊厳を回復すること。

### ダイバーシティ

「多様性」のこと。性別や国籍、年齢等にかかわらず、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のことをダイバーシティ社会といいます。

出典:国の第三次男女共同参画基本計画

### M字カーブ

日本の女性の労働力率を年齢階級別にグラフ化したとき、30代を谷とし、20代後半と40代後半が山になるアルファベットのMのような形になることをいいます。これは、結婚や出産を機に労働市場から退出する女性が多く、子育てが一段落すると再び労働市場に参入するという特徴があるためです。

### ワーク・ライフ・バランス

仕事は、暮らしを支え、生きがいや喜びをもたらすものですが、同時に、家事・育児、近隣との付き合いなどの生活も暮らしに欠かすことができないものであり、その充実があってこそ、人生の生きがい、喜びは倍増します。しかしながら、現実の社会には、安定した仕事に就けず、経済的に自立することができない、仕事に追われ、心身の疲労から健康を害しかねない、仕事と子育てや老親の介護との両立に悩むなど、仕事と生活の間で問題を抱える人が多く見られます。これらが、働く人々の将来への不安や豊かさが実感できない大きな要因となっており、社会の活力の低下や少子化・人口減少という現象にまで繋がっているとと言えます。それを解決する取組が、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現です。

出典:内閣府ホームページ(<http://www.cao.go.jp/wlb/towa>)

### 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律

自らの意思によって職業生活を営み、又は営もうとする女性の個性と能力が十分に発揮されることが一層重要であるため、以下を基本原則として、女性の職業生活における活躍を推進し、豊かで活力ある社会の実現を図るための法律です。

- 女性に対する採用、昇進等の機会の積極的な提供及びその活用と、性別による固定的役割分担等を反映した職場慣行が及ぼす影響への配慮が行われること
- 職業生活と家庭生活との両立を図るために必要な環境の整備により、職業生活と家庭生活との円滑かつ継続的な両立を可能にすること
- 女性の職業生活と家庭生活との両立に関し、本人の意思が尊重されるべきこと

